

2 学期終業式

先ほど、西成税務署より表彰状をいまみや小中一貫校としていただきました。中学生は税の作文、小学生は税の習字に租税教室などよく頑張ったご褒美でもらったものです。税といえば毎年、日本漢字能力検定協会が京都清水寺で発表する「今年の漢字」が発表され、「税」という感じが選ばれたことを覚えていますか？「暑」・「戦」・「虎」などを抑えての堂々第一位でしたね。その発表を聞いていて、ふと「いまみや小中一貫校の今年の漢字は何か？」と考えました。思い浮かんだ漢字は「兆」でした。チョウではなく、きざしと読みます。意味は「物事が起こりそうな気配」ということです。何の兆しかな？といういまみや小中一貫校が変わっていく兆しという意味です。

いまみや小中一貫校がどうすればもっといい学校になるかということを、先生たちで考えました。その中で出てきたのが「小学校と中学校、1年生から9年生がもっと協力していろいろなことができないか？」というものでした。それに応えるかたちで、今年は「いまスポ」等これまで行ってきた小中合同行事に加えて、「小中合同プール」、「小中合同英語教室」、「小中合同ほけん便りの発行」など新しい取り組みもできました。まさに「兆」です。

中学生に小学校の先生が「元気にしてますか？」と声をかけたり、廊下を走る小学生に中学校の先生が注意したり、部活動で中学生が小学生を教えるといった光景がもっともっと多く見かけられるような学校になればいいな～と先生たちは思っています。そんな学校に変わっていける「兆」を感じた1年間だったので、校長先生の今年の漢字を「兆」にしました。

短い冬休みですが、皆さん健康にすごしてくださいね。1月9日の始業式に元気に会えることを楽しみにしています。これで校長先生のお話を終わります。